

# 日本企業のサプライチェーン最上流の農家の環境・社会課題解決へ向けた取り組み

活動地域  日本全域

ひろげる助成  
**2年目**  
知識の提供・普及啓発

イベント開催 **1回**

オンラインイベントの参加者数 **176人**

今年度計画の達成度 **5%**

目標達成度 **5%**



## 日本サステナブル・コットン・イニシアチブ設立イベント

日時：2021年5月27日（木）  
14：30～16：30  
場所：オンライン（ZOOM）

※新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の延長がなされたため、会場としていた日比谷図書館が宣言解除まで臨時休館となりました。

そのため全てオンラインでのみの実施に変更とさせていただきます。

イベントは 終了 です

## 日本サステナブル・コットン・イニシアチブ設立イベント

サステナブル・コットン・イニシアチブ設立

### 課題

発展途上国の綿花とサトウキビ農家の課題として、農業と化学肥料の不適切な使用が環境汚染と健康被害を発生させるとともに、その農業等のコスト負担により貧困に陥っている。

### 目標

綿花とサトウキビ農家の環境・社会課題の解決のために、日本の企業・消費者へ普及啓発し企業のサステナブル・コットンの調達量増加、サトウキビ認証の認知度を向上させる。

### 活動内容と成果

2021年度は綿花に焦点をあて、日本サステナブル・コットン・イニシアチブ設立イベントに計176人の方に参加いただいた。イベントでは綿農家で使用される化学薬品による環境影響を消費者やアパレルメーカーに周知し、今後下記の5団体が協働でサステナブル・コットンの更なる普及を行うことになった。

- テキスタイルエクステンヂ
- 認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
- 一般社団法人ソリダリガード・ジャパン
- 一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会
- 一般社団法人持続可能なサプライチェーン研究所



ベター・コットン・イニシアチブ啓発資料

## 苦労した点と工夫した点

### ■苦労した点

弊団体と他団体の目的は同じであれ、課題への解決方法や運営状況が異なるため、コンセンサスを形成することが難しかった。

### ■工夫した点

互いの団体の思いを伝え、また、運営に関する方法論等を話すことに時間を費やすことを心がけた。



## 全助成期間の活動を振り返って

本年度の活動として、日本サステナブル・コットン・イニシアチブが設立されたこと、また、その運営団体が決定したことによる影響は日本にとって大変喜ばしいことである。他方で、弊団体においては人員不足や運営方法に問題があったと認識している。よりよい活動ができたことと猛省していることである。

〒211-0006  
神奈川県川崎市中原区丸子通1-653-7-202  
電話：044-982-1967  
E-mail：info@g-assc.org  
HP：http://g-assc.org/



### 今後の展望

今後、5団体に運営を任せ日本サステナブル・コットン・イニシアチブが海外の協力団体とコミュニケーションを図り、日本におけるサステナブル・コットン使用量を増加させることにより、日本のみならず世界の環境負荷が低減され、より良い環境になっていくと考えている。